

授業科目名	急性期成人看護援助論	担当教員	◎櫻井一江、兼子裕美
必修	開講年次：3年前期	単位：2単位	授業形態：演習 60時間

【授業概要】

慢性期成人看護学に続いて、成人看護学各論を学ぶ。急性期にある人々への看護援助、外科的治療を受ける人の援助、そして健康の危機的状況にある人の状態の判断と支援に関する看護の役割について学ぶ。

【授業目的・目標】

- 急性期にある人々の看護援助に関する基礎知識を理解する。
- 外科的治療を受ける患者を周術期を通して継続的な観点から援助する能力を培うとともに周術期の患者のリスク予測に基づいた予防的な看護能力を取得する。
- 健康の危機的状態に面している患者の援助に関する基礎的知識を獲得する。

【履修条件】

「成人看護学概論」を修得していること

【授業計画】

- | | | |
|------|---|---------|
| [01] | ガイダンス 急性期とは・急性期の概念と対象の理解 | (櫻井) |
| [02] | 周手術期看護とは・麻酔と看護・安全管理 | (櫻井) |
| [03] | 【演習】手術前の看護『術前準備』/グループワーク | (櫻井・兼子) |
| [04] | 手術前の看護『術前準備・術前アセスメント』・意思決定支援 | (櫻井) |
| [05] | 【演習】手術後の看護『病室直後の患者の状態』/グループワーク | (兼子・櫻井) |
| [06] | 手術後の看護(疼痛管理、創傷管理)術後合併症(術後出血、DVT、呼吸器合併症、イレウス、せん妄、感染) | (兼子) |
| [07] | 呼吸器系の手術を受ける患者の病態と看護(肺がん、気胸、気管支鏡検査、胸腔穿刺他) | (兼子) |
| [08] | 急性期にある患者の身体的心理的反応 | (櫻井) |
| [09] | 【演習】消化器系の手術を受ける患者の看護(胃切除術) *実技評価/グループワーク | (兼子・櫻井) |
| [10] | 消化器系の手術を受ける患者の病態と看護(胃がん、イレウス、ヘルニア、虫垂炎) | (兼子) |
| [11] | 【演習】呼吸器系の手術を受ける患者の看護(肺葉切除術) *実技評価/グループワーク | (兼子・櫻井) |
| [12] | 呼吸器系の手術を受ける患者の病態と看護(肺がん、気胸、気管支鏡検査、胸腔穿刺他) | (兼子) |
| [13] | 【演習】脳神経系の手術を受ける患者の看護(脳腫瘍摘出術) *実技評価/グループワーク | (櫻井・兼子) |
| [14] | 脳神経系の手術を受ける患者の病態と看護(脳腫瘍、脳梗塞、クモ膜下出血、慢性硬膜下血腫、穿頭術、V-P シヤント) | (櫻井) |
| [15] | 【演習】運動器系の手術を受ける患者の看護(人工股関節置換術) *実技評価/グループワーク | (櫻井・兼子) |
| [16] | 運動器系の手術を受ける患者の病態と看護(大腿骨頸部骨折、脊柱管狭窄症、脊髄損傷、関節鏡、ギブス固定、ROM、MMT 他) | (櫻井) |
| [17] | 【演習】循環器系の手術を受ける患者の看護(冠動脈バイパス術) *実技評価/グループワーク | (兼子・櫻井) |
| [18] | 循環器系の手術を受ける患者の病態と看護(心筋梗塞、大動脈解離、不整脈、弁膜症、デバイス治療、弁置換術他) | (兼子) |
| [19] | 【演習】生殖器系の手術を受ける患者の看護(乳房切除術) *実技評価/グループワーク | (櫻井・兼子) |
| [20] | 生殖器系の手術を受ける患者の病態と看護(乳がん、子宮頸がん、子宮体がん、子宮筋腫、卵巣嚢腫他) | (櫻井) |
| [21] | 【演習】泌尿器系の手術を受ける患者の看護(経尿道的前立腺切除術) *実技評価/グループワーク | (兼子・櫻井) |
| [22] | 泌尿器系の手術を受ける患者の病態と看護(膀胱がん、前立腺がん、急性腎不全、尿路結石、腎移植、ホルモン療法、膀胱鏡他) | (兼子) |
| [23] | 【演習】消化器系の手術を受ける患者の看護(腹腔鏡下胆嚢摘出術) *実技評価/グループワーク | (兼子・櫻井) |
| [24] | 口腔外科、消化器系の手術を受ける患者の病態と看護(胆石症、大腸がん、肝がん、膵臓がん、急性膵炎、喉頭がん他) | (兼子) |
| [25] | 皮膚科、内分泌系、眼科の手術を受ける患者の看護(熱傷、甲状腺疾患、網膜剥離治療、眼内レンズ挿入術他) | (櫻井) |
| [26] | 救急看護(外傷・中毒症・感染症)・トリアージ・急性症状・急性期にある人の特殊な治療環境 | (兼子) |
| [27] | 成人看護技術とアセスメント(救急処置 気道確保 呼吸管理 人工呼吸器 IABP 循環管理 中心静脈圧 肺動脈圧 体温管理) | (櫻井) |
| [28] | 手術室看護(手術室看護師の役割、手術中の看護) | (櫻井) |
| [29] | ストーマ造設した人の看護 看護過程の事例展開 (アセスメント・関連図) | (櫻井) |
| [30] | ストーマ造設した人の看護 看護過程の事例展開 (問題リスト・目標設定) | (櫻井) |
| [31] | ストーマ造設した人の看護 看護過程の事例展開 (看護計画と評価) | (櫻井) |

【教科書】

- ・佐藤まゆみ、林直子(2018):成人看護学 急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護、南江堂
- ・佐藤まゆみ、林直子(2018):成人看護学 急性期看護Ⅱ 救急看護、南江堂
- ・野崎まなみ、林直子、佐藤まゆみ他(2018):成人看護学 成人看護技術、南江堂
- ・人間機能学、人間病態学Ⅰ・Ⅱ、成人看護学概論、慢性期成人看護援助論で使用した教科書および参考書

【参考書】

- ・東めぐみ(2009):看護リフレクション入門 経験から学び新たな看護を創造する、ライフサポート社
- ・鎌倉やよい、深田順子(2008):周術期の臨床判断を磨く 手術侵襲と生体反応から導く看護、医学書院
- ・編集:矢永勝彦/高橋則子、執筆:矢永勝彦 他(2017)《系統看護学講座 別巻》臨床外科看護総論(第11版)医学書院
- ・編集:北島政樹/江川幸二、執筆:朝本俊司 他(2017)《系統看護学講座 別巻》臨床外科看護各論(第9版)医学書院
- ・山勢 博彰(2018):《系統看護学講座 別巻》救急看護学(第6版)医学書院
- ・道又 元裕(2018):《系統看護学講座 別巻》クリティカルケア看護学(第9版)医学書院

【評価方法・評価基準】

定期試験 60% 実技評価 16% 看護過程の事例展開 9% 授業参画度 15%

【講義のために必要な事前・事後学習】

【事前学習】

- ①人間機能学、人間病態学、成人看護学概論、慢性期成人看護援助論で学習した内容を復習しておくこと。
- ②演習で実施する事例内容について、学習しておくこと。
- ③看護展開論Ⅰ、Ⅱを復習して、事例展開及び関連図の整理ができるように準備すること。

【事後学習】

演習で実施した内容を復習し、実践(臨地実習)に必要な看護技術を修得しておくこと。

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅲ.根拠に基づいた看護実践能力、Ⅴ.多職種から成り立つ医療チームにおけるコミュニケーションとコラボレーション能力、Ⅷ.生涯に渡り継続して専門性を向上させる能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

定期試験:全試験終了後解答を開示する。実技評価及び事例展開については、授業の中で解説をする。

【備考】